

～古賀院長エッセイ～

## 次代への風



### 大切にしている物

昨今は様々な物や情報があふれる時代になり、何が自分にとって大事なものかわかりにくくなっています。健康法一つとっても、テレビでは毎日のように食べ物、サプリメントから体操法までいろいろな事が宣伝されています。そして次々に飛びつくが、記憶に留まらず、継続されず、次に向かってしまう傾向があるようです。安くて便利そうな物も溢れ、次々に買っては、また次の物に目が行ってしまいます。

次々と手を変え、品を変えていると、結局元に戻って何も得られなかった、ということに成り兼ねません。「何はなくとも、これだけは」というものがあれば、心強く生きていけるように思います。私は中学1年で買ってもらったシャープペンシルを大学受験までその1本で通しましたが、試験のお守りとして、これ以上のものはありませんでした。何度も何度も繰り返し、ぼろぼろになった1冊の参考書もお守りでした。今は手術の道具や万年筆などで、長く使って、お守りになっている手放せないものがありますが、皆さんは如何ですか。

職人さんたちは皆さんそれぞれに大切にしている物がありますが、物に命を吹き込むのは使う人です。お金と違って、使えば使うほど価値が増えていくものが確かにあります。年末に向けて、「これぞ」という買い物をしてみては如何でしょうか。



### 院長語録

毎朝の朝礼での一訓をご紹介します。

今、自分が何をしているか、何をすべきかを考える事で区切りをつける。  
一律に頑張り通してもダメ。  
漫然と行わない事で最終的には全体をまとめ上げる事ができる。